



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 中央紙器工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3952 URL <http://www.mcpack.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山下 雅司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 前 賢太 TEL 052-400-2800
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始予定日 2020年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	10,462	△15.0	642	△21.8	741	△18.3	489	△15.6
2019年3月期	12,309	1.7	821	△1.0	907	11.9	580	19.3

(注) 包括利益 2020年3月期 430百万円 (△0.1%) 2019年3月期 524百万円 (△1.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	98.55	—	4.2	5.4	6.1
2019年3月期	116.80	—	5.1	6.7	6.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 33百万円 2019年3月期 25百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	13,835	11,839	85.6	2,383.69
2019年3月期	13,631	11,608	85.2	2,337.04

(参考) 自己資本 2020年3月期 11,839百万円 2019年3月期 11,608百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	728	△145	△204	8,160
2019年3月期	811	△106	△200	7,784

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	198	34.2	1.7
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	198	40.6	1.7
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当につきましては、未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

なお、詳細につきましては、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	5,225,008株	2019年3月期	5,225,008株
② 期末自己株式数	2020年3月期	258,024株	2019年3月期	258,022株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	4,966,985株	2019年3月期	4,966,986株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	10,420	0.9	597	△8.6	738	△14.7	526	△15.2
2019年3月期	10,326	2.6	653	△13.1	866	△12.5	620	△11.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	105.94	—
2019年3月期	124.85	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2020年3月期	12,670	10,758	10,758	10,486	84.9	2,165.97	2,111.15	
2019年3月期	12,357	10,486	10,486	10,486	84.9	2,111.15	2,111.15	

(参考) 自己資本 2020年3月期 10,758百万円 2019年3月期 10,486百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(連結損益計算書)	6
(連結包括利益計算)	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 継続企業の前提に関する注記	11
(6) セグメント情報	11
(7) 1株当たり情報	11
(8) 重要な後発事象	11
4. 役員の変動	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などが進み緩やかな回復傾向で推移してきたものの、米中貿易摩擦等による世界経済の不安定化や相次ぐ自然災害、消費税率の引上げに加え、新型コロナウイルスの感染拡大等により先行きは、一層不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、国内の段ボール生産量については、概ね前年比同水準で推移しておりましたが、1月以降の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、食品需要の一部は堅調なもの、自動車関連を中心とした工業製品における落ち込みは顕著であり、極めて厳しい状況が続いております。

こうした状況下で、当社グループは、製品価格の改定により、原材料値上りによる先行負担の解消を進めると共に、包装仕様提案による拡販を進め、徹底的なムダの撲滅、リードタイム短縮による原価低減活動にグループ一丸となって取り組んでまいりました。

当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高については、第4四半期での需要の落ち込み、及び中国事業のスキーム見直しにより、今期から中国分が外れたことにより減収となりました。また、利益についても減益の結果となりました。

以上により、売上高104億62百万円（前期比15.0%減）、営業利益6億42百万円（前期比21.8%減）、経常利益7億41百万円（前期比18.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益4億89百万円（前期比15.6%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「3. 連結財務諸表及び主な注記（6）セグメント情報等」に記載のとおりであります

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は108億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億31百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が3億76百万円増加し、受取手形及び売掛金が1億52百万円減少したことによるものであります。固定資産は30億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が38百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、138億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億4百万円増加いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は12億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が43百万円減少したことによるものであります。固定負債は6億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、19億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は118億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億31百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益4億89百万円及び剰余金の配当1億98百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率85.6%（前連結会計年度末は85.2%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益7億31百万円を計上し、法人税等の支払額2億89百万円、有形固定資産の取得による支出1億72百万円等により、当連結会計年度末残高は、前連結会計年度末に比べ3億76百万円増加し、81億60百万円（前期末比4.8%増）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は7億28百万円（前期比10.3%減）となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益7億31百万円、減価償却費2億24百万円及び法人税等の支払額2億89百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1億45百万円（前期比36.6%増）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出1億72百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2億4百万円（前期比2.3%増）となりました。これは、主に配当金の支払額1億98百万円等によるものです。

なお、当社グループの運転資金及び設備投資資金は、主として内部資金により充当し、必要に応じて借入による資金調達を実施することを基本方針としており、当連結会計年度における設備投資資金については、内部資金により充たいたしました。

当社グループは、今後も営業活動により得られるキャッシュ・フローを基本に将来必要な運転資金及び設備投資資金を調達していく考えです。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスによる影響を適切に見通せる段階ではありませんが、大変厳しい経営状況が継続する事が予想されます

この様な状況下、当社グループはピンチをチャンスにすべく、人財育成に注力した新人事制度の導入、職場環境の整備を推し進めると共に、お客様に寄り添った提案型の拡販活動、更なる原価低減活動を強力に取り組んでまいります。

また、新たに2025年に向けた中長期ビジョンを策定し、国内外市場での拡販、新素材・新技術・新事業等の挑戦を続け、グループ全体の持続的な成長に努めてまいります。

なお、2021年3月期の連結業績予想につきましては、自動車関連等主要販売先における新型コロナウイルスの影響を合理的に算出することが困難であるため、未定としております。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,784,197	8,160,943
受取手形及び売掛金	2,066,085	1,913,181
電子記録債権	500,591	520,718
商品及び製品	127,546	125,016
仕掛品	15,731	14,829
原材料及び貯蔵品	53,604	79,880
その他	48,343	12,978
貸倒引当金	△484	△241
流動資産合計	10,595,614	10,827,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,937,369	3,037,441
減価償却累計額	△2,309,230	△2,366,844
建物及び構築物(純額)	628,139	670,597
機械装置及び運搬具	3,661,750	3,694,038
減価償却累計額	△3,156,381	△3,251,838
機械装置及び運搬具(純額)	505,369	442,199
土地	653,489	653,489
建設仮勘定	20,009	12,427
その他	553,790	556,896
減価償却累計額	△508,250	△480,753
その他(純額)	45,539	76,142
有形固定資産合計	1,852,547	1,854,857
無形固定資産		
その他	37,135	32,137
無形固定資産合計	37,135	32,137
投資その他の資産		
投資有価証券	895,546	856,682
繰延税金資産	116,927	137,681
その他	138,480	132,268
貸倒引当金	△5,240	△5,240
投資その他の資産合計	1,145,715	1,121,392
固定資産合計	3,035,397	3,008,387
資産合計	13,631,012	13,835,694

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	721,100	677,379
未払法人税等	144,278	103,386
未払消費税等	43,896	45,734
賞与引当金	131,274	121,837
役員賞与引当金	33,830	32,340
その他	279,403	317,515
流動負債合計	1,353,783	1,298,192
固定負債		
役員退職慰労引当金	69,620	86,500
退職給付に係る負債	548,054	559,158
その他	51,486	52,080
固定負債合計	669,161	697,739
負債合計	2,022,944	1,995,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,077,895	1,077,895
資本剰余金	980,562	980,562
利益剰余金	9,219,897	9,510,737
自己株式	△72,138	△72,141
株主資本合計	11,206,215	11,497,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	387,738	332,514
為替換算調整勘定	14,114	10,195
その他の包括利益累計額合計	401,853	342,710
純資産合計	11,608,068	11,839,762
負債純資産合計	13,631,012	13,835,694

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	12,309,347	10,462,644
売上原価	9,281,487	7,678,325
売上総利益	3,027,859	2,784,318
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	570,505	625,118
給料手当及び賞与	745,927	704,511
賞与引当金繰入額	76,156	72,588
役員賞与引当金繰入額	33,830	32,340
退職給付費用	30,420	25,518
役員退職慰労引当金繰入額	18,140	17,260
法定福利費	120,437	116,441
福利厚生費	31,328	30,250
賃借料	114,464	92,554
交際費	24,342	20,203
租税公課	44,911	43,713
減価償却費	61,674	65,854
修繕費	63,287	59,192
その他	270,782	236,034
販売費及び一般管理費合計	2,206,209	2,141,581
営業利益	821,650	642,736
営業外収益		
受取利息	1,609	1,528
受取配当金	32,258	34,020
持分法による投資利益	25,266	33,577
仕入割引	10,143	10,291
受取賄費	8,052	7,924
その他	16,792	13,395
営業外収益合計	94,122	100,737
営業外費用		
為替差損	3,414	1,447
中国事業再編費用	4,464	—
その他	533	751
営業外費用合計	8,411	2,198
経常利益	907,360	741,274
特別損失		
減損損失	—	9,607
関係会社株式売却損	40,995	—
特別損失合計	40,995	9,607
税金等調整前当期純利益	866,364	731,667
法人税、住民税及び事業税	299,844	250,450
法人税等調整額	△13,612	△8,302
法人税等合計	286,231	242,148
当期純利益	580,133	489,519
親会社株主に帰属する当期純利益	580,133	489,519

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	580,133	489,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,451	△55,223
為替換算調整勘定	△5,381	128
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,658	△4,048
その他の包括利益合計	△55,491	△59,143
包括利益	524,641	430,376
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	524,641	430,376

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,077,895	980,562	8,838,443	△72,138	10,824,761
当期変動額					
剰余金の配当			△198,679		△198,679
親会社株主に帰属する当期純利益			580,133		580,133
自己株式の取得			—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	381,453	—	381,453
当期末残高	1,077,895	980,562	9,219,897	△72,138	11,206,215

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	430,189	27,155	457,344	11,282,106
当期変動額				
剰余金の配当				△198,679
親会社株主に帰属する当期純利益				580,133
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△42,451	△13,040	△55,491	△55,491
当期変動額合計	△42,451	△13,040	△55,491	325,962
当期末残高	387,738	14,114	401,853	11,608,068

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,077,895	980,562	9,219,897	△72,138	11,206,215
当期変動額					
剰余金の配当			△198,679		△198,679
親会社株主に帰属する当期純利益			489,519		489,519
自己株式の取得				△2	△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	290,839	△2	290,837
当期末残高	1,077,895	980,562	9,510,737	△72,141	11,497,052

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	387,738	14,114	401,853	11,608,068
当期変動額				
剰余金の配当				△198,679
親会社株主に帰属する当期純利益				489,519
自己株式の取得				△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△55,223	△3,919	△59,143	△59,143
当期変動額合計	△55,223	△3,919	△59,143	231,694
当期末残高	332,514	10,195	342,710	11,839,762

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	866,364	731,667
減価償却費	236,609	224,971
減損損失	—	9,864
中国事業再編費用	4,464	—
関係会社株式売却損益(△は益)	40,995	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14,340	16,880
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,842	11,104
受取利息及び受取配当金	△33,867	△35,548
為替差損益(△は益)	—	1,552
持分法による投資損益(△は益)	△25,266	△33,577
売上債権の増減額(△は増加)	△8,610	131,900
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,794	△22,843
仕入債務の増減額(△は減少)	△64,777	△42,984
その他	42,537	△13,747
小計	1,069,837	979,239
利息及び配当金の受取額	36,246	38,974
法人税等の支払額	△294,120	△289,844
営業活動によるキャッシュ・フロー	811,963	728,369
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	70,900	—
有形固定資産の取得による支出	△160,637	△172,039
投資有価証券の取得による支出	△2,468	△2,699
貸付金の回収による収入	7,110	8,263
その他	△21,285	21,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,381	△145,315
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△198,710	△198,534
その他	△1,428	△6,159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200,139	△204,693
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,119	△1,613
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	501,323	376,746
現金及び現金同等物の期首残高	7,282,873	7,784,197
現金及び現金同等物の期末残高	7,784,197	8,160,943

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

「II 当連結会計年度(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは従来、「日本」「中国」の2区分を報告のセグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より「日本」の単一セグメントに変更しております。

当社グループは、2018年12月13日に発表しました中国事業の再構築に伴い、2019年1月に当社の連結子会社である香港中央紙器工業有限公司の販売機能を当社持分法適用関連会社である東莞宏冠包装印刷科技有限公司に統合したため、中国での売上高は連結上計上されないことから、「日本」の単一セグメントとなりました。

この変更により、当社グループは、「日本」の単一セグメントとなることから、前連結会計年度および当連結会計年度のセグメント情報の記載を省略しております。

(7) 1株当たり情報

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,337円04銭	2,383円69銭
1株当たり当期純利益	116円80銭	98円55銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	11,608,068	11,839,762
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	11,608,068	11,839,762
普通株式の期末株式数(株)	4,966,986	4,966,984

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	580,133	489,519
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益(千円)	580,133	489,519
普通株式の期中平均株式数(株)	4,966,986	4,966,985

(8) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 役員の変動 (2020年6月25日予定)

(1) 代表取締役の変動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の変動

① 昇任予定取締役

専務取締役 なんや としひろ
南谷 登志宏 (現 常務取締役 社長補佐)

常務取締役 はやかわ なおひこ
早川 直彦 (現 取締役 営業部長 兼 調達部担当)

② 新任取締役候補

取締役 きむら ゆたか
木村 豊 (現 参与 安全衛生環境部長 兼 物流部長)

③ 退任予定取締役

取締役 (常務待遇) よこい けいじ
横井 敬嗣 (現 香港中央紙器工業有限公司 董事長・総経理)

以 上

2020年3月期 決算概要

1. 当期(2020年3月期)の連結業績

連結経営成績・・・今決算は減収減益

(単位:百万円)

	当 期 2020年3月期 (第69期)		前 期 2019年3月期 (第68期)		増減額	
		百分比		百分比		増減率
売 上 高	10,462	100.0%	12,309	100.0%	△1,846	△15.0%
営 業 利 益	642	6.1%	821	6.7%	△178	△21.8%
経 常 利 益	741	7.1%	907	7.4%	△166	△18.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	489	4.7%	580	4.7%	△90	△15.6%
1株当たり 当期純利益	98.55 円		116.80 円		△ 18.25 円	

連結決算対象会社			
・子会社	4社	(中央興産株式会社、中央コンテ株式会社、 香港中央紙器工業有限公司、CHUOH PACK (MALAYSIA) SDN. BHD.)	
・持分法適用会社	3社	(MC PACK (MALAYSIA) SDN. BHD.、 澤邦發展有限公司、東莞宏冠包装印刷科技有限公司)	
・売上高の連単倍率	1.00 倍		

(新規顧客獲得 12社 12百万円)

・業種別販売状況

(単位:百万円)

	当 期 2020年3月期		前 期 2019年3月期		増減額	
		構成比		構成比		増減率
自動車関係	7,385	70.6%	7,895	64.2%	△509	△6.5%
電気機械関係	1,795	17.2%	3,167	25.7%	△1,371	△43.3%
食品関係	253	2.4%	226	1.8%	27	12.0%
その他	1,027	9.8%	1,020	8.3%	7	0.7%
合 計	10,462	100.0%	12,309	100.0%	△1,846	△15.0%

・品目別販売状況

(単位:百万円)

	当 期 2020年3月期		前 期 2019年3月期		増減額	
		構成比		構成比		増減率
段ボール製品	7,973	76.2%	9,866	80.2%	△1,892	△19.2%
(段ボールケースほか)	(7,694)	(73.5%)	(9,528)	(77.4%)	(△1,833)	(△19.2%)
(三層段ボールケースほか)	(278)	(2.7%)	(338)	(2.8%)	(△59)	(△17.5%)
その他(化成品ほか)	2,488	23.8%	2,442	19.8%	45	1.9%
合 計	10,462	100.0%	12,309	100.0%	△1,846	△15.0%

《減収要因》 国内において製品価格改定を進め、増収効果が出ているものの、中国事業のスキーム見直しにより、今期から中国分が外れたことにより減収となった。

《対前期営業利益の減益要因》

増 益 要 因 263 百万円

- ①製品価格変動による効果
②固定費の減少、収益改善の効果

減 益 要 因 △441 百万円

- ①購入品価格変動による影響等
②中国事業見直しによる影響

営 業 利 益 △178 百万円の減

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
2020年3月期	13,835	11,839	85.6	2,383.69
2019年3月期	13,631	11,608	85.2	2,337.04

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	728	△145	△204	8,160
2019年3月期	811	△106	△200	7,784

2. 配当の状況

	1株当たり配当金			配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	中間期末	期末	年間			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	20.00	20.00	40.00	198	40.6	1.7
2019年3月期	20.00	20.00	40.00	198	34.2	1.7
2021年3月期 (予想)	—	—	—		—	

3. 次期(2021年3月期)連結業績予想

2021年3月期の連結業績予想につきましては、自動車関連等主要販売先における新型コロナウイルスの影響を合理的に算出することが困難であるため、未定としております。

今後連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。